

令和4年9月の台風第15号における 静岡県砂防課の土砂災害への対応について

◆ 小林 知 樹* ◆

1. はじめに

静岡県では、令和4年9月23日から24日の台風第15号による猛烈な豪雨により、死者3名、全壊8棟、半壊2,219棟などの甚大な水災害が発生しました。また、国道や県道などの通行止めに加え、約120,000戸で停電し、約76,300戸で断水が発生するなどライフラインにも大きな影響が生じました。

本稿では、静岡県砂防課の台風第15号における土砂災害への対応について報告します。

2. 降雨と土砂災害の発生状況

静岡県では、23日夜から24日明け方にかけて、記録的短時間大雨情報が16回発表され、県中部の伊久美雨量観測所（島田市）では1時間最大雨量127mm、24時間最大雨量544mmを観測するなど、静岡県中西部において昭和49年の七夕豪雨以来の記



図-1 台風第15号の等雨量線図

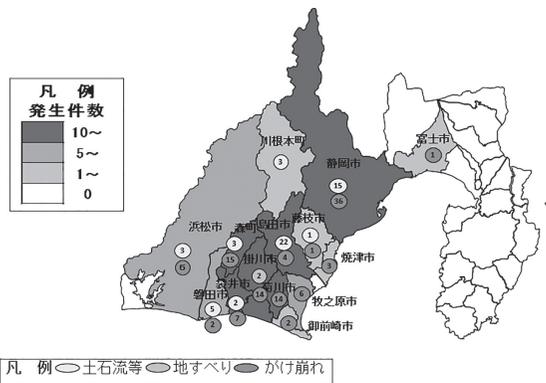


図-2 台風第15号の土砂災害発生状況

録的な豪雨となりました（図-1）。

県内の土砂災害は、167件（土石流等：54件、地すべり：2件、がけ崩れ：111件、死者1名、負傷者3名、全壊5戸を含む74戸の住宅被害）発生し、近年10年間の平均値66件を大きく上回りました（図-2、写真-1）。

3. 静岡県砂防ボランティア協会と連携した土砂災害の現地調査

台風第15号では、複数の市町で同時多発的に土砂災害が発生したことから、職員による土砂災害の把握に時間を要しました。

このため、静岡県砂防ボランティア協会に対して、土砂災害の現地調査を依頼したところ、砂防課の勤務経験者であるOB3名が現地調査に参加しました。現地調査には、砂防課職員も同行して、土砂災害の状況を確認し、土木事務所や市役所等

*Tomoki Kobayashi 前静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課砂防班技師



布沢宮沢（静岡市清水区）



旭ヶ丘西沢（藤枝市旭ヶ丘）



和田島大向井（静岡市清水区）



伊佐布矢下川原（静岡市清水区）

写真－1 台風第15号の土砂災害

に対し、被害状況の報告や警戒避難に関する助言を行いました（写真－2）。

4. 災害関連緊急事業の実施状況

台風第15号で発生した土砂災害のうち、次期出水等により、二次被害が発生するおそれがある箇

所について、災害関連緊急事業を実施しています（表－1）。

また、国の激甚災害の指定を受けたことから、静岡市清水区の2箇所において、県内初となる災害関連緊急地域防災がけ崩れ対策事業が採択されました。

土砂災害による被害が甚大であった災害関連緊急事業2件について、実施状況を報告します。

(1) 油山川災害関連緊急砂防事業

静岡市葵区油山地先の「(一)安倍川水系油山川」において、土石流が発生し、温泉旅館の中を土砂が流下するなど床上浸水17戸、床下浸水15戸の被害が発生しました（写真－3）。

次期出水に備えるため、土砂災害発生後速やかに土石流センサーや仮設堰堤等の設置に加え、溪流内の除石を実施しました。

表－1 台風第15号における災害関連緊急事業等一覧

箇所名	位置	概要	保全対象	概算額	施行主体
油山川	静岡市葵区油山	砂防堰堤工2基	人家71戸	約4.1億	静岡県
旭ヶ丘西沢	藤枝市原	砂防堰堤工1基	人家10戸	約1.9億	静岡県
平松藪下B	磐田市平松	法面工1式	人家5戸	約1.5億	静岡県
河内中村	静岡市清水区河内	法面工1式	人家3戸	約2.2億	静岡市
西里黒川山B	静岡市清水区西里	法面工1式	人家2戸	約1.3億	静岡市



土木事務所報告の様子



役場職員から聞き取りの様子



現地調査の状況

写真－2 静岡県砂防ボランティア協会と連携した現地調査

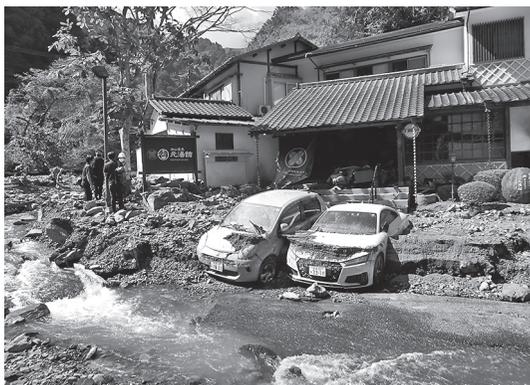


写真-3 油山川被害状況

また、土砂流出量が多く、残土処理が困難な状況のため、残土を砂防堰堤本体のソイルセメント材として活用するとともに、清水港内への埋立て材として有効活用しました。更に未相続地と所有者不明の土地に対して、未相続地等を極力避ける堰堤箇所の検討や所有者不明土地管理制度の活用などにより、速やかに工事着手に努めました。

(2) 平松藪下B災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業

磐田市の「平松藪下B」において、大規模な斜面崩壊が発生し、人家半壊が3戸や主要地方道磐田天竜線が28日間通行止めになる等、ライフラインにも大きな影響を与えました(写真-4)。

このため、崩壊斜面に対しては、法枠工+鉄筋挿入工を令和5年4月12日に工事着手、令和5年12月4日に完成し、斜面の安定化を図りました(写真-5、6)。

なお、大量の崩壊土砂は磐田市と連携して県道及び急傾斜地対策施設周辺は県、民地は市と区分



写真-4 災害発生時(令和4年9月25日撮影)



写真-5 工事着手前(令和5年4月12日撮影)

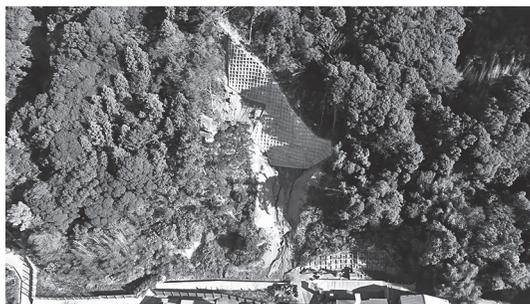


写真-6 完成(令和5年12月4日撮影)

けし、撤去を行いました。

5. おわりに

令和4年の県内における土砂災害発生件数は、211件と全国で最多となりました。そのうち約8割の167件が9月の台風第15号で発生しました。この台風第15号における土砂災害対応で得られた教訓や課題を整理し、今後の災害対応に活用していきたいと考えています。

最後に発災直後から多大なる御尽力をいただいた静岡県砂防ボランティア協会の皆様をはじめ、国土交通省、各市町の関係者の皆様に、この誌面をお借りし、厚くお礼申し上げます。